

令和7年度予算概算要求

目 次

1.	4県協調による有明海再生対策	・ ・ ・ ・ ・	1
2.	令和5年農林水産大臣談話に基づく「必要な支援」	・ ・ ・ ・ ・	4

1. 4 県協調による有明海再生対策

令和 7 年度予算概算要求 有明海再生対策

農林水産省農村振興局
水産庁

(単位：百万円)

事項	担当省庁	令和 6 年度 予算額 ※	令和 7 年度 概算要求額 ※
1. 有明海特産魚介類生息環境調査委託事業 (資料3-1, 3-2, 3-3, 3-5, 3-6)	農村振興局	600	600
2. 国営干拓環境対策調査 (資料3-6)	農村振興局	328	328
3. 有明海漁業振興技術開発事業 (資料3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5関連)	水産庁 (農村振興局計上)	400	400
4. 有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業 (資料3-1, 3-2, 3-4関連)	水産庁	325	325
5. 有明海水産基盤整備実証調査 (資料3-1, 3-3, 3-4関連)	水産庁	112	112
合計		1,765	1,765

(参考) 関連対策

事項	担当省庁	令和 6 年度 予算額 ※	令和 7 年度 概算要求額 ※
6. 水産基盤整備事業 (水産環境整備事業)	水産庁	12,226 の内数	14,519 の内数
7. 養殖業成長産業化推進事業 (委託費)	水産庁	296 の内数	372 の内数

※ 予算額、概算要求額は国費

有明海再生対策

【令和7年度予算概算要求額 1,765 (1,765) 百万円】

＜対策のポイント＞

有明海の再生に向けて、海域環境の保全・改善と水産資源の回復等による漁業の振興を図るため、有明海沿岸4県が協調し、**海域環境の調査、魚介藻類の増養殖対策**を行うとともに、**漁場改善対策**を推進します。

＜事業目標＞

有明海の再生

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 海域環境の調査

- ① **有明海特産魚介類生息環境調査委託事業** 600 (600) 百万円
有明海の再生に向けた**有明海特産魚介類の最適な生息環境の調査**を実施するとともに、**有明海沿岸4県が協調して、産卵場や成育場のネットワークの形成等による資源回復に向けた調査**を実施します。
- ② **国営干拓環境対策調査＜公共＞** 328 (328) 百万円
有明海的环境変化の要因解明に向けて、**水質や底質及び生態系の変化等に関する調査**を実施するとともに、**環境保全対策などの対応を検討**します。

2. 魚介藻類の増養殖対策（有明海漁業振興技術開発事業）

400 (400) 百万円

有明海の再生に向けた、**有明海沿岸4県が協調して行う海域特性に対応した効率的な種苗の量産化及び効果的な放流手法等に関する技術開発**を支援します。

3. 漁場改善対策

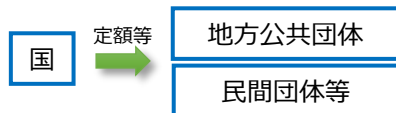
- ① **有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業** 325 (325) 百万円
有明海の漁業者の収益性の向上を図るため、**各漁場におけるアサリ等の漁獲量の増加に資する技術開発・実証**を行います。
- ② **有明海水産基盤整備実証調査＜公共＞** 112 (112) 百万円
タイラギ等の資源回復のため、**効果的に餌料環境の改善を図るための漁場の整備方策に関する実証調査**を行います。

（関連事業）

水産基盤整備事業（水産環境整備事業）＜公共＞
養殖業成長産業化推進事業

14,519 (12,226) 百万円の内数
372 (296) 百万円の内数

＜事業の流れ＞

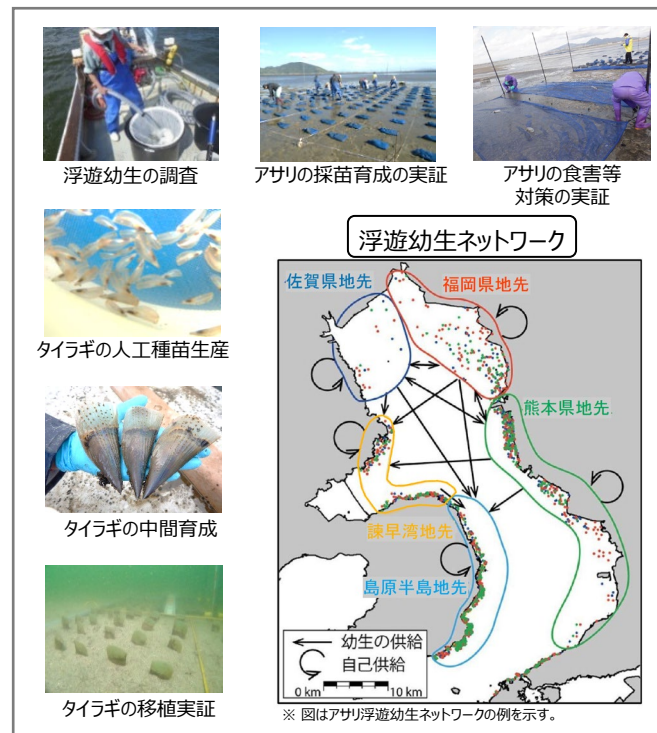


※ 事業の一部は、直轄で実施（国費率10/10）

【お問い合わせ先】

- (1の事業)
- (2の事業)
- (3①の事業)
- (3②の事業)

農村振興局農地資源課 (03-6744-1709)
水産庁栽培養殖課 (03-6744-2385)
研究指導課 (03-6744-2031)
計画課 (03-6744-2387)



2. 令和5年農林水産大臣談話に基づく「必要な支援」

※ 農林水産省概算要求資料「令和7年度 農林水産関係予算概算要求の重点事項」からの抜粋

諫早湾干拓潮受け堤防排水門の非開門を前提とした有明海の再生の加速化に係る経費については、予算編成過程で検討

目指すべき姿

有明海を取り巻く社会経済情勢等も大きく変化しており、また、気候変動に伴う気温や水温の上昇、豪雨やそれに伴う大規模出水等による影響も顕在化している状況を踏まえつつ、おおむね10年後に目指すべき姿を定めた。

I 二枚貝類の生産性の回復による海域環境の改善

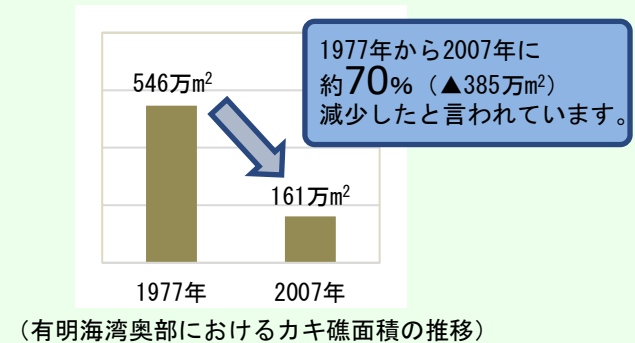
- 植物プランクトンの増殖抑制等の重要な生態系機能を担う、二枚貝類の生産性の回復を通じて、海域環境の改善を図るとともに、適切に資源を管理する。



(網袋の取組)



(移植放流作業)



II 多種多様な水産資源の持続的・安定的確保

- 有明海はノリの国内主要生産地であり、二枚貝類、クルマエビ、ガザミ、エツ等の水産資源の生産地でもある。海域環境改善の取組の進捗に応じて、長期的な環境の変化が水産業に与える影響に対する緩和策・適応策、突発的な災害に対する事前対策・事後対策、資源管理等により、多種多様な水産資源の持続的・安定的な生産を図る。

III 持続的な漁業経営モデルの確立・普及

- 次世代を担う漁業者等が将来にわたって安定的な生活を確保できる所得が得られるよう、漁業環境の変動に柔軟に対応しつつ、収益性の確保と資源管理を両立、漁業経営モデルケースを実践・確立し、その普及により漁業経営の安定を図る。

目指すべき姿を実現するための取組内容の検討

○有明海の現状と課題を踏まえて設定した、おおむね10年後の目指すべき姿を実現するための具体的な取組について、これまでの有明海再生の取組における知見、関係者の意見等を踏まえて整理した。

現状・課題

○ 二枚貝の減少や
海域環境の悪化

○ 多種多様な水産
資源の減少（漁
獲量の減少）

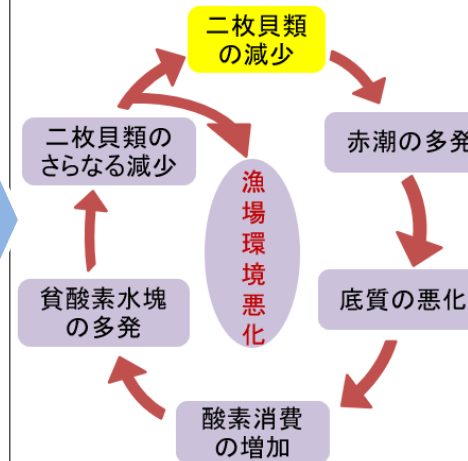
○ 漁業者の高齢
化・減少

取組の整理

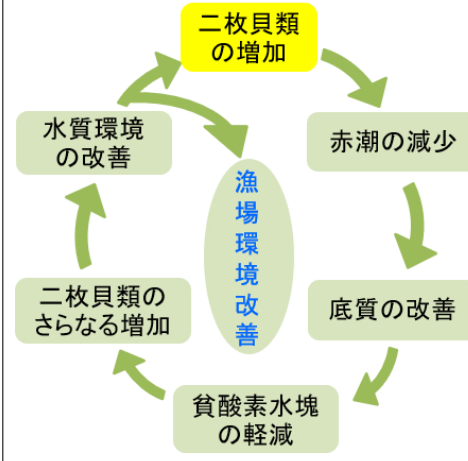
○ 二枚貝類を減少から増加に転換させ、漁場環境改善に繋がる好循環を生み出すための取組が重要

「漁場環境改善や水産資源確保の加速化のための取組」を整理

環境悪化スパイラル



環境改善スパイラル



第33回有明海・八代海等総合調査評価委員会の資料と相馬（2006）を参考に整理した

○ 漁業所得の確保に向けた、漁業生産の省力化や高付加価値化、水産業の効率化等の取組が重要

「漁業者の経営改善のための取組」「新技術導入等による新たな挑戦のための取組」を整理

目指すべき姿

①二枚貝の生産性の回復
による海域環境の改善

②多種多様な水産資源の
持続的・安定的確保

③持続的な漁業経営モデルの
確立・普及